

平成30年7月15日

柳瀬川町内会各位

柳瀬川町内会会長 竹前栄二
防犯パトロール隊隊長 石原 敏雄

回覧

6月度防犯パトロールの件

梅雨が明け猛暑が続きますが、皆様如何お過ごしですか。
日頃より、町内会の運営にご理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
「防犯パトロール隊」皆様もパトロール有難うございます。
6月度は大きな事件はありませんでした。

埼玉県警よりの情報です。

県内では、法務省管轄支局国民訴訟通達センターという実在しない機関から、「総合消費料金に関する最終告知のお知らせ」等と題された不審なハガキが届いています。
記載された連絡先に電話をかけてしまうと、「訴訟を回避するため、お金を振り込んで下さい」などと、言葉巧みにお金を騙し取ろうとします。（架空請求の手口です。）
被害に遭わないために、このようなハガキが届いたら詐欺を疑い、決して記載された電話番号に連絡しないで下さい。

現在、志木市内で、百貨店店員を装う者から「あなた名義のカードを使って買い物された女性があります」等の振り込め詐欺の電話がかかっています。
県内ではこのほかにも、役所の職員や警察官等を装い、お金やキャッシュカード等を騙し取ろうとする詐欺電話が、毎日かかっています。
被害に遭わないために、ご家族で情報を共有し《在宅時でも留守番電話の設定をする・防犯機能付き電話機を使用する》など犯人と話さないための対策をとり、このような詐欺電話がかかってきたら警察へ連絡してください。

豪雨時、国土交通省は「家庭で役立つ防災」ビニール袋についてを別紙記載しましたので参考にしてください。



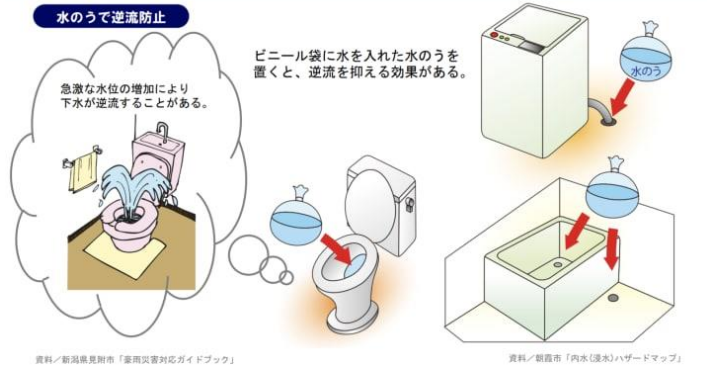
pixta.jp - 17785703

豪雨時は「トイレの逆流対策」も必要 ビニール袋に水を入れるだけ

豪雨のときは、下水が逆流し、トイレや風呂場、洗濯機の排水口などから水が噴き出ることがある。下水道の水位が急上昇することが原因で、2階まで逆流することもあるという。どう防げばいいのか。国土交通省は「**家庭で役立つ防災**」でビニール袋に水を入れた「水のう」が

浸水直前の対策 ～下水の逆流を防ぐ～

- 急激な水位の増加により下水が逆流し、トイレや風呂場、洗濯機の排水口などから水が噴き出ることがある。
- ビニール袋に水を入れた水のうを置くと、逆流を抑える効果がある。



有効と呼びかけている。

一般財団法人によると、40リットルや45リットル用の大きめなビニール袋が有効だという。水は、半分程度(20リットル)入れ、「残りの空気を袋から抜いて、口を固く締め」ることが大切だ。また、プラスチック製のタンクなどでも代用可能だという。内閣府では、そのほかの浸水対策もアップしている。玄関からの浸水を防ぐためには、土のうがなくても、プランターやポリタンク、レジャーシートなどで代用可能だ。

床下収納から浸水する可能性もある。重いものや水のうなどでフタを塞ぐことで、軽減できるという。また、大事な家財などを高いところに避難させておくことも大切だ。

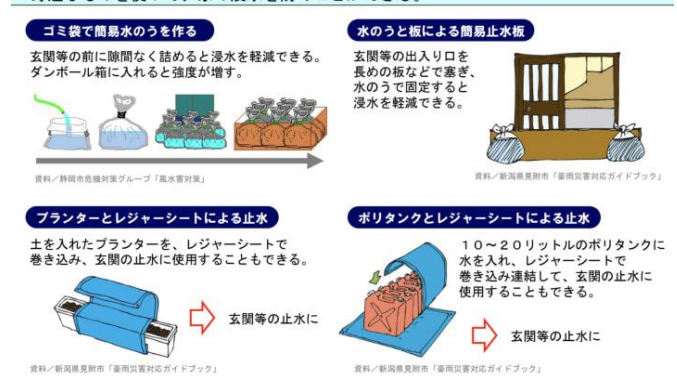
浸水直前の対策 ～家財の被害を防ぐ～

- 水害による家財被害を軽減するため、家財を2階などの高い所へ上げる。



浸水直前の対策 ～玄関からの浸水を防ぐ～

- 土のうが無くても、ゴミ袋やプランター、ポリタンク、レジャーシートなどの身近なものを使って、家の浸水を防ぐことができる。



浸水直前の対策 ～床下収納からの浸水を防ぐ～

- 床下が浸水すると、床下収納のふたが開いて水が室内に入ることがある。
- 重いものや水のうなどで床下収納のふたを塞ぐと、浸水を軽減する効果がある。

